

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2023年12月17日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



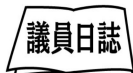
「くらし応援給付金」の早期支給・年末対策を市長に申し入れ



年末を控え、4年続いたコロナ禍に加え、異常な物価高騰と社会保障制度の後退で市民生活と中小企業・小規模事業者は大変厳しい状況に追い込まれています。政府による低所得世帯支援枠の「京都市くらし応援給付金（追加支援）」7万円が実施されますが、現時点では給付開始が2月になるとのことで、これでは市民生活は耐えられません。また、「不況型倒産」が増加しています。「このままでは年が越せない」などの悲鳴の声が広がっており、行政の支援は

待ったなしです。党議員団は市長に対し、12日に申し入れを行いました。

申し入れでは、くらし応援給付金について、年内支給も含め一日も早く実施することや、物価高騰による市民や中小業者の厳しい生活について、「年末緊急対策本部」を立ち上げるなどの特別体制を確立し、緊急に実態を掌握すること。歳末生活資金貸付事業を復活すること。など5点を申し入れました。



市長を変えて、市民生活一番の京都市政をつくろう!!

敬老乗車証の申請者が激減！ 市民のための制度に変えよう！

2023年12月14日に、10月時点の敬老乗車証と敬老バス回数券の交付状況が発表されました。予想されたように、交付率は31.67%にまで下がりました。敬老バス回数券は5.09%しか交付されていません。当初から京都市は、「負担が3倍になれば、申請者は約3割に減るだろう」と予測していました。しかし、その分、回数券を申請されるとの予想をしていました。しかし、たったの5%の申請に終わりました。1万円分を5千円で買えるといってもなかなか負担は大きいです。京都市は「持続可能な制度にするための負担増」と説明してきましたが、制度だけ残っても市民が使えない制度では意味がありません。福山市長を実現し、敬老乗車証制度をもとに戻しましょう！



市営住宅への指定管理者制度に反対討論

1 1月市会に向島市営住宅と際目市営住宅に指定管理者制度を導入する提案がされました。株式会社に市営住宅の管理を委託して、その事業者がさらに再委託をすることも認める内容ですから、日本共産党市会議員団を代表して反対討論をしました。与党議員は賛成をしました。京都市が責任を持つべき住まいのセーフティネットとしての役割を、民間の株式会社に任せてしまっては、市民の安全安心に責任が持てなくなります。今回を皮切りにさらに他の市営住宅にも広げる計画ですから、許せません。反対の声を大きく上げましょう！



西野 さち子 議員

小栗栖小中一貫校の
工事現場を視察
日本共産党市会議員団は、
京都建設労働組合の皆さんと
ともに、現在市内で行われて
いる公共工事の現場を視察し、
労働者の現状を直接聞き取り
ました。西野市議は、小栗栖
小中一貫校の工事現場で聞き
取り調査をしました。



困ったときは...
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!
☎621-6717